

# ブックガイドから見る中国児童文学

大宅 利美<sup>1</sup>

## 提 要

日本で「海外児童文学」と言えば、実質的に欧米の児童文学を指すことが多い。中国の児童文学も出版されているものの、書店や図書館で目にする機会は多いとはいえない。本論文では各種ブックガイド・ブックリスト所収の中国児童文学作品をリストアップし、その傾向を分析した。その結果、日本で出版されている中国児童文学は民話あるいは『西遊記』などの古典小説が大半を占めていることがわかった。一方で、中国では多様な日本児童文学が翻訳され出版されている。これらのことから日中の文化受容について考察する。

## はじめに

娘と書店を訪れた時、書店の児童文学<sup>2</sup>コーナーに欧米の児童文学がずらっと並んでいるのを見た。そういえば中国の児童文学はどのような作品を置いているのだろうか、と探してみたが、見つかったのは民話か『三国志』『水滸伝』『西遊記』<sup>3</sup>といった古典小説ばかりだった。では今の中国の子どもたちも民話や古典小説ばかり読んでいるのだろうか、と上海出身の義妹に質問したところ、彼女は友人に頼んで本棚を撮影してもらい、その写真を数枚送ってくれた。そこに写っ

---

<sup>1</sup> 神田外語大学外国語学部アジア言語学科中国語専攻准教授。

<sup>2</sup> 本論文では「児童文学」を、絵本・童話・民話・昔話・小説・ノンフィクションなど、児童・生徒のために著された作品を広く指すこととする。

<sup>3</sup> 正確には『三国志』は歴史書、小説は『三国（志通俗）演義』（版本によって題に異同あり）であるが、日本での慣例と各書の題名に従う。

ていたのは中国の本（鄭淵潔《舒克贝塔传》<sup>4</sup>、曹文軒《青铜葵花》<sup>5</sup>、《西游记》〔西遊記〕など）、欧米の本（《哈利・波特》系列〔『ハリー・ポッター』シリーズ〕、《阁楼里的秘密》<sup>6</sup>など）、そして日本の本であった。日本の本は中国語訳された絵本<sup>7</sup>と《窗边的小豆豆》（黒柳徹子『窓際のトットちゃん』）と《丢三落四的小豆豆》（黒柳徹子『トットの欠陥帖』）であった。『窓際のトットちゃん』は台湾で13種類、中国大陸で8種類の翻訳が出版されるほどの人気で<sup>8</sup>、2020年4月には《教育部基础教育课程教材发展中心 中小学生学习指导目录（2020年版）》（中国教育部〔日本の文部科学省に相当〕基礎教育課程教材發展センター 中小学生学习指導目錄〔2020年版〕）に日本の本として唯一選ばれている<sup>9</sup>。

中国の子どもの本棚には日本の児童文学が並んでいる。では日本の子どもの本棚に中国児童文学は並んでいるのか？

以上の体験から、筆者は日本における中国児童文学の受容状況を知るため、児童書ブックガイド（ブックリストを含む、以下同）にどのような中国児童文学<sup>10</sup>が紹介されているかを調べることにした。なぜなら日本で出版される年間約4千点余の児童書<sup>11</sup>から、図書館や学校などが受け入れ図書を選ぶ際にはブックガイ

<sup>4</sup> 2匹のネズミ舒克と貝塔の冒険を描く。作者の鄭淵潔（1955-）は「童话大王」「童話大王」と呼ばれる。邦訳なし。

<sup>5</sup> 邦訳『青銅とひまわり』樹立社2020年。作者の曹文軒（1954-）も代表的な児童文学作家であり、2013年国際アンデルセン賞を受賞した。

<sup>6</sup> “The Callendar Papers” by Cynthia Voigt, 1984年エドガー賞作品賞ジュブナイル部門受賞。邦訳なし。

<sup>7</sup> 《鱈魚怕怕，牙医怕怕》（五味太郎『わにさんどきっ はいしゃさんどきっ』偕成社1984年）、《小蛇散步》（いとうひろし『へびくんのおさんぽ』鈴木出版1992年）、《你看起来好像很好吃》（宮西達也『おまえうまそうだな』ポプラ社2003年）があった。

<sup>8</sup> 「窓ぎわのトットちゃん」、中国で1千万部突破：朝日新聞デジタル（[asahi.com](http://asahi.com)）、屈堅萌2021『窓際のトットちゃん』中国語訳本における文化の翻訳：民俗信仰関連の言葉を中心に、関西大学学術リポジトリ。

<sup>9</sup> 教育部基础教育课程教材发展中心首次向全国中小学生学习指导目录 - 中华人民共和国教育部政府门户网站([moe.gov.cn](http://moe.gov.cn)) その他の外国作品は全て欧米（ソ連を含む）の作品である。

<sup>10</sup> 広義の「中国児童文学」には中国大陸だけでなく台湾や香港、マレーシアやシンガポールにおいて中国語で出版された作品も含まれるが、本論文では中華人民共和国で出版された作品に限定する。

<sup>11</sup> 総務省統計局『日本統計年鑑』文化26-8「書籍新刊点数（平成28年～令和元年）」640頁。第70回日本統計年鑑([stat.go.jp](http://stat.go.jp))

ドが参照され、そこに選ばれた作品は一定の評価を受けていると考えられるからである。

## 1. 先行研究と研究方法

日本における中国児童文学受容の歴史については石田 1990 (4. 参照) と寺前 2008 が詳しい。日本のブックガイドにおける中国児童文学についての研究は、筆者の調べた限りではまだないようである。中国のブックガイドに見える海外児童文学については、霜鳥 2007 が児童文学者の梅子涵が薦める 77 の作品を紹介している<sup>12</sup>。成實 2016 は「中国小学図書館基本配備図書」のリストの中から文学書（翻訳書と中国書）を抽出し、中国の児童文学書の傾向について考察している。

本論文では 5 種 8 冊のブックガイドから中国児童文学を抽出し、その傾向を分析する。さらに中国における日本児童文学の出版状況と比較して日中の文化受容について考察する。

## 2. ブックガイドに紹介された中国児童文学

各ブックガイドの収集方針を示し、所収中国児童文学を表にした<sup>13</sup>。

### 2-1. 『子どもの本 世界の児童文学 最新 3000 2005-2014』

同書は、2005 年から 2014 年までに児童書として物語・詩集などの作品が刊行された海外の作家 428 人を選定し、刊行された児童文学書 2,865 冊を収録した図書目録であり、長く出版され続けている古典的名作から現代の作家の最近の話題作・新作までを幅広く収録したブックリストである（(3) 頁「刊行にあたって」）。同書に選定された作家の人数（表 1）と中国児童文学（表 2）は以下の通りであ

<sup>12</sup> のべ 77 人の作者を国別に見ると、アメリカ 23、イギリス 17、ドイツ 14、と日本と同様、英・米・独の作品が多い。日本からは《晴天有时下猪》（『はれときどきぶた』）と《活了 100 万次的猫》（『100 万回生きたねこ』）が選ばれた。

<sup>13</sup> 筆者が見たブックガイドの中には中国児童文学が 1 点しか選ばれていないもの、1 点も選ばれていないものもあった。紙幅の関係で 1 点しか選ばれていないブックガイドは除外した。

る。

人数	国名	人数	国名
137	イギリス	5	スペイン、ベルギー
131	アメリカ	4	オランダ、韓国
35	ドイツ	3	オーストリア、中国
21	フランス	2	ギリシャ、チェコ
14	オーストラリア	1	アルゼンチン、イスラエル、
7	イタリア、カナダ		ギリシャ、クロアチア、
6	アイルランド、スウェーデン、 フィンランド		スイス、ハンガリー、ロシア

備考：国名記載なしが35人。小泉八雲（日本）は除外。

表1 2005-2014年に出版された海外児童文学作家の国別人数

題名	作者、訳者など	出版社	発行年月
① 三国志 1-4 (完結)	渡辺仙州/編訳	偕成社	2005年3月- 2005年4月
② 三国志	駒田信二/訳	講談社 21世紀版少年 少女世界文学館第24巻	2011年3月
③ ジュニア版水滸伝 6-10 (完結)	平川陽一/編著	汐文社	2005年11月- 2006年3月 <sup>14</sup>
④ 子ども版 西遊記 1-7 (完結)	桜井信夫/文	あすなろ書房	2009年7月- 2009年12月
⑤ 西遊記	君島久子/訳	講談社 21世紀版少年 少女世界文学館第23巻	2011年3月

<sup>14</sup> 1-5巻は2004年7月～2005年2月に出版された。

⑥ 西遊記 1-10 (未完)	斉藤洋/文	理論社 斉藤洋の西遊記 シリーズ	2004年6月- 2012年2月 <sup>15</sup>
⑦ 西遊記	小沢章友/文	講談社 青い鳥文庫	2013年3月

表2 2005-2014年に出版された中国児童文学

文革を描いた2006年『乱世少年 1967年・チアンチアンの大冒険』（蕭育軒/作、石田稔/訳、国土社）が漏れているものの、それ以外は全て古典小説であった。

## 2-2. 2003年『どの本読もうかな 中学生版 海外編』・

2014年『新・どの本読もうかな 中学生版 海外編』<sup>16</sup>

同書は多くの本の中から中学生にこれだけは読んでほしいと思う本を選び、『日本編』と『海外編』にまとめたブックガイドで（2014年版3頁「はじめに」）、1冊の本を1ページで紹介し、物語編・ノンフィクション編・絵本編に分けて内容を解説している。2003年版は計183冊（物語編143冊、ノンフィクション編17冊、絵本編23冊）、2014年版は計183冊（物語編138冊、ノンフィクション編21冊、絵本編24冊）、両書とも中国児童文学は以下の2点であった<sup>17</sup>。

題名	作者、訳者など	出版社	備考
① 阿Q正伝・狂人日記	魯迅/著、竹内好/訳	岩波文庫	物語編
② 絵本西遊記	周鋭/編、中由美子/訳	童心社	絵本編

表3 『どの本読もうかな 中学生版 海外編』所収の中国児童文学

<sup>15</sup> 14巻（2020年10月）まで刊行中。

<sup>16</sup> 小学生対象の『新・どの本読もうかな？1・2年生』『新・どの本読もうかな？3・4年生』『新・どの本読もうかな？5・6年生』（いずれも国土社2011年）に中国児童文学作品は紹介されていない。

<sup>17</sup> 2014年版にはパールバック『大地』も紹介されていたが、中国人作家による作品ではないため表に含めなかった。

①は近代小説、②は『西遊記』の絵本である。

### 2-3. 『キラキラ読書クラブ』2006年・2014年

2006年『キラキラ読書クラブ 子どもの本 644冊ガイド』、2014年『キラキラ読書クラブ 改定新版 子どもの本 702冊ガイド』は、絵本・児童文学・古典的児童文学・昔話・ノンフィクションを収録したブックガイドで、出版当時に入手できなくなっている本は取り上げていない（2006年20頁・2014年改訂新版22頁「おとなのみなさんへ」）。③と④以外は同じ本が選ばれているので1つの表にした。また、これまでの表に既出の作品は題名のみ記した（以下同じ）。

題名	作者、訳者など	出版社など	発行年、備考
① 白いりゅう 黒いりゅう	賈芝、孫劍冰/著 君島久子/訳	岩波書店	1964年
② 西遊記 上・下	呉承恩/作 君島久子/訳	福音館書店	上：1975年 下：1976年
③ 花仙人 中国の昔話	松岡享子/文	福音館書店	1998年 2014年版は抹消
④ けものたちの ないしょ話	君島久子/編訳	岩波少年文庫	2001年（2020年 <sup>18</sup> ） 2014年版に追加
⑤ 三国志	——	——	=表2-①

表4 2006、2014『キラキラ読書クラブ』所収の中国児童文学

①と④は民話、②③⑤は古典小説で、③は明代の白話短編小説集『醒世恒言』巻4「灌園叟<sup>かんえんそう</sup>晩逢<sup>ひぐれ</sup>仙女（灌園叟 晩に仙女に逢うこと）」（後述）の再話である。

<sup>18</sup> 岩波少年文庫70周年記念復刊第2弾の7冊に選ばれ、2020年10月15日に復刊された。

## 2-4. 『絵本の森へ』2012年 『物語の森へ』2017年

『絵本の庭へ』と『物語の森へ』は品切れ・絶版になった作品も収録し、図書館蔵書構築の指針を示すブックリストである（『物語の森へ』6-7頁「はじめに」）。『絵本の庭へ』所収の中国の絵本は表5の通りである。

題名	作者、訳者など	出版社	発行年
① シナの五にんきょうだい	クレール・H・ピショップ /ぶん、いしいももこ/訳	福音館書店	1961年
② 王さまと九人のきょうだい—中国の民話	君島久子/訳	岩波書店	1969年
③ おひやくしょうとえんま さま—中国民話	君島久子/再話	福音館書店	1969年
④ ほしになったりゅうの きば	君島久子/再話	福音館書店	1976年
⑤ たなばた	君島久子/再話	福音館書店	1976年
⑥ うしかいとおりひめ— ちゅうごくみんわ	きみしまひさこ/やく	偕成社	1977年
⑦ しんせつなともだち	方軼羣/作 君島久子/訳	福音館書店	1987年
⑧ 鳳凰と黄金のカボチャ	崔岩岫/文 片桐園/訳	岩崎書店（日中共 同出版）	1990年
⑨ 十万本の矢—三国志絵本 <sup>19</sup>	唐亜明/文	岩波書店	1997年
⑩ ちょうちんまつり	唐亜明/文	木城えほんの郷	2003年
⑪ 西遊記 1～3	文/唐亜明	偕成社	2006年

表5 『絵本の森へ』中国の絵本

<sup>19</sup> 2011年に続編の『七たび孟獲をとらえる』『空城の計』が出版された。

①②③④⑤⑥⑧が民話で、①はアメリカの絵本、⑨⑩⑪が古典小説で、⑩は『列仙全伝』（後述）の再話<sup>20</sup>、⑦は動物が主人公の物語である。

『物語の森へ』所収の中国児童文学は表6の通りである<sup>21</sup>。

題名	作者、訳者など	出版社	発行年、備考
① 錦の中の仙女	伊藤貴豊/編訳	岩波少年文庫	1956年/絶版
② 水滸伝 上・下	施耐庵/作 松枝茂夫/編訳	同上	1959・1969年 <sup>22</sup>
③ 月からきたトウ ヤーヤ	シャオ・カンニュー (肖甘牛)	岩波書店	1969年
④ 銀のかんざし (世界むかし話)	エド・ヤング <sup>23</sup> /絵 なだぎりすすむ/訳	ほるぷ出版	1979年
⑤ 三国志 上・中・下	羅貫中/作 小川環樹、竹部利男/編訳	岩波少年文庫	1980年 <sup>24</sup>
⑥ 中国のむかし話	君島久子・古谷久美子/共訳	借成文庫	1985年
⑦ 聊斎志異	蒲松齡/作 立間祥介/編訳	岩波少年文庫	1997年 <sup>25</sup>
⑧ 子どもに語る中国 の民話	松瀬七織/訳 湯沢朱実/再話	こぐま社	2009年

<sup>20</sup> 同書巻末に「この話は『列仙全伝』（王世貞輯・汪雲鵬補、玩虎軒刊、1600年）、『FAIRY TALES FROM CHINA』（MARION L. ADAMS、“REVIEW OF REVIEWS” OFFICE、1880年代）、『支那童話集』（小泉一雄編、金蘭社、1925年）に基づいて再話しました」とある。

<sup>21</sup> 表は掲載順ではなく出版年順に並べた。「昔話 中国」の項に『チベットのものいう鳥』『子どもに語るモンゴルの昔話』が入っていたが除外した。

<sup>22</sup> 1975年に二分冊から三分冊に。2001年新装版。

<sup>23</sup> エド・ヤング（1931-）は中国天津生まれ。19歳で渡米後、広告美術の仕事を経て児童書画家となる。1990年“Lon po po”（表6-⑦）でコールデコット賞を受賞。1992年“Seven Blind Mice”（『七匹のねずみ』古今社1999年）でコールデコット賞オナーブック（次席）を受賞（同書奥付、[Ed Young | Artist/Illustrator \(edyoungart.com\)](http://EdYoungArtistIllustrator(edyoungart.com))）。

<sup>24</sup> 2000年に新装版。

<sup>25</sup> 2000年に新装版。



⑨ 白いりゅう 黒いりゅう	——	——	=表 4-①
⑩ 西遊記	——	——	=表 4-②
⑪ 花仙人— 中国の昔話	——	——	=表 4-③

表 6 『物語の森へ』中国の児童文学

①③④⑥⑧⑨が民話・昔話、②⑤⑦⑩⑪が古典小説である。

## 2-5. 『多文化に出会うブックガイド』

同書はさまざまな文化（多文化=multiculture）がますますまじりあっていくであろう21世紀の社会への「扉」を開いてくれるような、絵本や児童文学、ノンフィクション、写真集、学習図鑑など、幼児から高校生にふさわしい655タイトル（シリーズを含む）を紹介するブックガイドである。厳しい出版状況の影響などによって品切れや絶版となっているものも選んでいる（2-3頁「はじめに」）。

題名	作者、訳者など	出版社	分類
① ヤンヤン いちばへいく	周翔/作 文妹/訳	ポプラ社	BOOK TALK <sup>26</sup>
② 封神演義 ナージャとりゅうおう	唐亜明/文	講談社	古典をもとにした絵本
③ 桃源郷ものがたり	松居直/文	福音館書店	同上
④ ウェン王子とトラ	チェン・ジャンホン/作・ 絵	徳間書店	物語絵本
⑤ ちいさなこまいぬ <sup>27</sup>	キム・シオン/作	コンセル	同上

<sup>26</sup> BOOK TALK コーナー「にてるよ、ちがうね お隣のくにとくらし」で紹介。

<sup>27</sup> 浅野 2010 によれば、この絵本には簡体字版、繁体字版、韓国版、英語版があり、日本語版は英語版からの翻訳と推測されるという。原作は熊亮《小石獅》（明天出版社 2007年）。韓国の絵本ではない。

⑥	中国のむかしばなし 巨人グミヤーと太陽と月	君島久子/文	岩波書店	民話絵本
⑦	ロンボポーオオカミと 三にんのむすめ	エド・ヤング/再話・絵 藤本朝巳/訳	古今社	同上
⑧	黄河一川の地理図鑑 人びとのくらしと自然	ジュリア・ウォーターロー /著	偕成社	ノンフィク ション
⑨	ホンホンとメイメイー 中国雲南省の先住民・ イ族の子どもたちの一日	北沢杏子/文 長谷川みずさち/写真	アーニ出版	写真絵本
⑩	草原の子どもたちー モンゴル族の子どもたち の生活	北沢杏子/文 塩原日出夫/写真	アーニ出版	同上
⑪	私は勉強したいー中国少 女マー・イェンの日記	馬燕、ピエール・アスキ/ 著 山本和子/訳	幻冬舎	同上
⑫	すみれほいくえん	鄭春華/作 中由美子/訳	福音館書店	物語・小説
⑬	シャンハイ・ボーイ チア・リ君	秦文君/作 片桐園/訳	岩崎書店	物語・小説
⑭	サンサン	曹文軒/著 中由美子/訳	てらいんく	物語・小説
⑮	一人っ子たちのつぶやき	陳丹燕/著 中由美子/訳	てらいんく	物語・小説
⑯	けものたちのないしょ話	——	——	民話・昔話 表3-④

表7 『多文化に出会うブックガイド』の中国に関する書籍

①④⑤⑫⑬⑭⑮は物語・小説、②③は古典小説、⑥⑦⑯は民話（絵本）、⑧⑨⑩⑪ノンフィクション（写真絵本はここに入れた）である。表の「分類」項は同

書の小見出しである。各項目は掲載順ではなく「分類」ごとに並べた。

## 2-6. [参考] 岩波少年文庫

以上の表から、各ブックガイドに岩波少年文庫から多くの作品を選ばれていることがわかる。同文庫は他社の児童文学叢書に比べて中国児童文学作品を多く収録している<sup>28</sup>ため、参考として取り上げることとする。

創刊 70 周年記念として出版された『岩波少年文庫のあゆみ』の巻末「岩波少年文庫 総目録 1950-2020」に掲載された海外・日本の名作 510 点（新訳 32 点、改訳 1 点を除くと 477 点）のうち中国の作品は 9 点で、これまで紹介したブックガイドに選ばれていたのは 6 点（古典小説 3 点、民話 3 点）であった。それ以外の 3 点は表 8 の通りである。

題名	作者	訳者、編訳者	出版年、備考
① 西遊記 上・中・下	呉承恩/作	伊藤貴鷹/編訳	1955 年 <sup>29</sup>
② タオ・チーの夏休み日記	シエ・ピンシン/作	倉石武四郎/訳	1957 年/絶版
③ 宝のひょうたん <sup>30</sup>	張天翼/作	松枝茂夫、君島久 子/訳	1958 年/絶版

表 8 岩波少年文庫で出版された中国児童文学作品

②は 1956 年、③は 1958 年に原作が出版された現代の作品であるが、現在は絶版となっている。

<sup>28</sup> 青い鳥文庫（講談社）は『西遊記』『水滸伝』『三国志』（1 巻完結版・7 巻完結版・短編集『三国志英雄列伝』）、集英社みらい文庫とポプラポケット文庫は『三国志』のみ、偕成社文庫は『故郷・阿 Q 正伝』、角川つばさ文庫は収録なし（2021 年 10 月現在）。

<sup>29</sup> 2001 年新装版刊行。

<sup>30</sup> 原題《宝葫芦的秘密》は持ち主が欲しいと思ったものを何でも持ってきてしまうヒョウタンとそれに翻弄される少年の話である。1963 年と 2007 年には映画化された（2007 年版は香港先濤電影娛樂有限公司、中国電影集团公司とディズニーの合作）。前述の《教育部基础教育课程教材发展中心 中小学生学习阅读指导目录（2020 年版）》にも選ばれている。

### 3. ブックガイド所収の中国児童文学 特に古典小説について

筆者が調べたブックガイドと岩波少年文庫に紹介されている中国児童文学は延べ 55 作品であった。それらをジャンル別に分類したものが表 9 である（複数巻から成る作品はまとめて 1 点と数えた）。近現代の作品より古典小説と民話が多数であることがわかる。

ジャンル名	点数	詳細、備考
古典小説	22	長編白話小説-19、文言小説-4、短編白話小説-2
民話・昔話	18	
物語・小説	11	近代小説-1、現代小説-6、物語-4
ノンフィクション	4	表 6「写真絵本」3冊を含む

表 9 ブックガイドに紹介された中国児童文学（ジャンル別）

ここまで「古典小説」とまとめて呼んできた作品は使用言語によって文言（書き言葉）小説と白話（話し言葉）小説に分かれる<sup>31</sup>。表 7-③「桃花源記」・表 5-⑨『列仙全伝』・『聊齋志異』は文言小説、『三国志』・『水滸伝』・『西遊記』・『封神演義』・表 4-③「灌園叟晩逢仙女」（『醒世恒言』巻 4）は白話小説である。

六朝・東晋「桃花源記」は陶淵明の作、明代『列仙全伝』は著名な政治家であり文人である王世貞編（恐らくは仮託）の仙人・道士の物語集、清代『聊齋志異』は蒲松齡による有名な怪談集である。

白話小説は宋代の講談から生まれた。『三国志演義』『水滸伝』『西遊記』『封神演義』は何日にもわたって語られる長編講談を元に、「灌園叟晩逢仙女」のよう

<sup>31</sup> 文言と白話の違いは単なる言語の違いではなかった。文言は読み書きに訓練が必要であるため文人（支配者階級）の言語、白話は庶民（被支配者階級）の言語、と言語の違いは社会的階層の違いと結びついて、白話文学は低俗なものであると考えられていた。

な短編白話小説<sup>32</sup>は1回で1話を語り切る短編講談を元に、いずれも明代に集大成されて現在の小説の形となった。

講談を元としている点は白話小説が人気となる大きな理由の一つであるかもしれない。講師は客の反応を直接見て、人気のない部分は削り、人気のある部分を膨らませることができた。このように磨かれてきた作品だからこそ、時代や国を超えて人の心をつかむのではないか。

#### 4. 日本における中国現代児童文学

中国の現代児童文学の作品が全く出版されていないわけではない。石田稔氏（前出『乱世少年』の訳者）は紹介論文「日本における中国児童文学の翻訳の現状」で1946年から1975年に日本で翻訳・発行された312点の中国児童文学作品のジャンルごとの割合を算出した<sup>33</sup>。

(1) 創作児童文学が主体または収録	16%
(2) 民話類	29%
(3) 『西遊記』、『水滸伝』、『三国志』	37%
(4) その他の中国古典もの	16%
(5) 古代・現代の詩、童謡など	3%

この時期においても民話と古典小説が多い傾向にあったことがわかる。石田氏はまた「中国児童書邦訳目録 1957年～2021年」<sup>34</sup>を作成し、41冊の書影を掲載した。これらの発行年代は、50年代が2冊、60年代が3冊、70年代が7冊、80年代が5冊、90年代が10冊、2000年代が4冊、2010年代が5冊、2020年代が5

<sup>32</sup> 『醒世恒言』は短編白話小説を代表する明の馮夢龍が編集した「三言」の中の1つである（他の2つは『喻世名言』『警世通言』）。「三言」には宋代の語り物をそのまま引き継ぐ作品と、馮夢龍自身が講談のスタイルを借りて創作したものが混在しており、「灌園叟晩逢仙女」は後者である。

<sup>33</sup> 大阪府立夕陽丘図書館じどうだより『はらっぱ』No.11「特集 アジアを知ろう 児童文学—その2 中国—」掲載（大阪府立夕陽丘図書館閲覧児童室編集1990年2月28日）、[日本における中国児童文学の翻訳の現状 - 中国児童文学と絵本のページ \(wordpress.com\)](#) に転載。石田氏から引用の許可と貴重なアドバイスをいただいた。ここに謝意を表する。

<sup>34</sup> [中国児童文学邦訳目録・表紙一覧 \(1957年～2021年\) - 中国児童文学と絵本のページ \(wordpress.com\)](#)。

冊であった。90年代の発行点数が多いのは、76年に文化大革命が終結し、80年代に改革開放政策が始まるとともに児童文学も自由度が高くなったからであるが、それ以前（特に1950年代から1970年代）の作品には社会主義的な思想が込められ、児童文学にもそのメッセージ性がはっきりと表現されているものが多かったという<sup>35</sup>。2016年に曹文軒が国際アンデルセン賞作家賞を受賞するなど、中国児童文学のレベルも徐々に上がりつつあるようだが、日本ではまだ翻訳が少ないのが現状である。

## 5. 中国における日本児童文学の出版状況

中国書籍を扱う亜東書店<sup>36</sup>の書誌データによると、1990年1月－2021年5月に中国で翻訳・出版された日本のマンガ・絵本はのべ767作品であった（日本以外の外国のマンガ・絵本はのべ195作品）。その一部を挙げると：

**絵本**－『桃太郎』『桃太郎』、『カラスのパン屋さん』『乌鸦面包店』、『あるかしら書店』『有呀有呀书店』など

**マンガ**－手塚治虫、宮崎駿、新海誠、『ドラえもん』『哆啦A夢』、『名探偵コナン』『名偵探柯南』、『新世紀エヴァンゲリオン』『新世紀福音战士』、『孤独のグルメ』『孤独的美食家』など

**コミックエッセイ**－『日本人の知らない日本語』『日本人都不知道的日语』、『大家さんと僕』『早安午安晚安』など

**物語**－宮沢賢治、新美南吉、『いやいやえん』『不不园』、『ズッコケ三人組』『花山少年三人組』、『かいけつゾロリ』『快活佐罗利』<sup>37</sup>など

様々な時代の作品が幅広く翻訳されていることがわかる。書店のリストなので売

<sup>35</sup> 浅野法子「中国の現代児童文学について、知りたいのですが……」『子どもの本100問100答』156頁。

<sup>36</sup> 株式会社亜東書店（東京都台東区）は中国・台湾・香港・韓国からの輸入図書販売を専門とする書店である。同書店のご厚意によりデータの提供と使用の許可をいただいた。ここに謝意を表す。

<sup>37</sup> 「かいけつゾロリ」の中国進出に関する記事：驚きの中国児童書市場—『かいけつゾロリ』から学ぶマーケティング戦略とは | AMP[アンプ] - ビジネスインスピレーションメディア ([ampmedia.jp](http://ampmedia.jp))

れそうな本が中心であることを考慮しても、中国ではマンガを含む日本の児童文学が受け入れられていると考えることができるであろう。

## 6. 日中文化受容に関する考察

日本で出版されている中国児童文学の多くが民話と古典小説であるのに対し、中国では日本児童文学（マンガを含む）が多様かつ豊富に出版されている。石田 1990 では創作児童文学があまり翻訳されない理由として、中国古典や民話には魅力のあるものが多く、創作児童文学にはそれらに匹敵するものが少なかったという事実をまず認めなければならない、と述べている。

中国では日本の児童文学の中でも特に絵本が人気である。以前、中国では絵本を“图画书”（図画画）と呼んでいたが、最近では日本語の“絵本”という語が使われるようになってきた。これは福音館書店が 1980 年代以降、中国に絵本を広め<sup>38</sup>、2000 年頃からはポプラ社が中国に進出して戦略的に日本の児童文学を売り込んだのが一定の成功を収めているという（注 37 参照）。また、これまで学力重視だった中国の教育が情操教育にも力を入れるようになり、情操教育に役立つ児童書に対する保護者の興味が高まってきたことも中国の子どもが海外（日本を含む）の児童書を読むようになった理由だという<sup>39</sup>。

今の日本の子どもたちは、中国児童文学以前に様々な要因で読書時間が短くなっている。その短い読書時間にもし中国児童文学を読むとすれば、まずはテレビやゲーム、マンガなどで馴染みにある『西遊記』や『三国志』などに手が伸びるのは自然なことであろう。出版社側も少子化と出版不況の中、売れる本を作りたい。そうなるの評価の定まった古典小説ばかりが出版されることになる。

総じて日本では昔の中国に関心があっても今の中国への関心が薄く、中国では

---

<sup>38</sup> 「三つの不思議」覆す 中国に絵本広めた福音館元編集者：朝日新聞デジタル([asahi.com](http://asahi.com))（有料会員記事）。

<sup>39</sup> 中国で「児童書」ブーム、背景に見える成績重視教育の変化 | 消費インサイド | ダイヤモンド・オンライン([diamond.jp](http://diamond.jp))

逆に今の日本に関心があっても昔の日本には関心がないようである（先の書誌データに見られる日本の古典は『源氏物語』《源氏物語》のみであった）。中国人は今の日本に関心を持っているのに、日本人の方が今の中国に関心を持たないのは残念なことである。

日本でも中国児童文学研究会、日中児童文学美術交流センターなどの団体が日中児童文学の交流に力を尽くしている。今後、この状況が改善されることを希望してやまない。

## おわりに

以上、日本の児童書ブックガイドに見られる中国児童文学の状況を整理し、中国における日本児童文学の状況と比較・考察した。日本では中国現代児童文学があまり出版されない状況にある一方、中国では日本の児童文学がバラエティ豊かに受け入れられていることがわかった。

日本と中国の間には様々な複雑で困難な問題がある。それにどう対処するにせよ、まずは相手のことを知らなければ始まらない。一般書では2015年ヒューゴー賞長編小説部門を受賞した劉慈欣『三体』が話題になった。また、最近テレビや電車内でCMを見かけるオンラインゲーム「原神」は中国のゲーム会社 miHoYo によって開発・運営されている<sup>40</sup>。娘が「原神」をプレイしていたのでゲーム画面を見せてもらうと、幻想的な背景の中に中国風のキャラクターがいた。SF も RPG も、現実でないところは古典小説と変わらないのだが、これからの日中の子どもたちをつなぐカギになるのはあるいはサブカルチャーなのかもしれない。

---

<sup>40</sup> 原神—冒険に満ちたプランニューワールドへ ([mihoyo.com](http://mihoyo.com))。この他にも日本で人気のスマホゲームの中には中国の会社が開発したものがある（「荒野行動」、「ミラクルニキ」、「アークナイツ」など）。



## 参考文献

- 浅野法子 2010. 中国大陸の絵本の現在—異文化の受容とその移植に伴う変容,  
『中国児童文学』第20号:45-52頁
- 屈豎萌 2021. 『窓際のトットちゃん』中国語訳本における文化の翻訳:民俗信仰  
関連の言葉を中心に, 関西大学学術リポジトリ [KU-1100-20210331-19.pdf](https://doi.org/10.24201/kuisu.1100-20210331-19)
- 霜鳥かおり 2007. 外国児童文学 in 中国—児童文学者が薦める77の作品, 『中国  
児童文学』第17号:54-64頁
- 大阪国際児童文学振興財団・編 2013. 『子どもの本100問100答』創元社
- 日外アソシエーツ・編 2014. 『子どもの本 世界の児童文学 最新3000 2005-  
2014』
- 日本子どもの本研究会・編 2003. 『どの本読もうかな 中学生版 海外編』金の  
星社
- 日本子どもの本研究会・編 2014. 『新・どの本読もうかな 中学生版 海外編』  
金の星社
- キラキラ読書クラブ・編 2006. 『キラキラ読書クラブ 子どもの本644冊ガイド』  
日本図書センター (品切れ、重版未定)
- キラキラ読書クラブ・編 2014. 『キラキラ読書クラブ 改定新版 子どもの本  
702冊ガイド』玉川学園出版部
- 東京子ども図書館・編 2012. 『絵本の庭へ』(児童図書館基本蔵書目録1), 公益  
財団法人東京子ども図書館
- 東京子ども図書館・編 2017. 『物語の森へ』(児童図書館基本蔵書目録2), 公益  
財団法人東京子ども図書館
- 世界とつながる子どもの本棚プロジェクト・編 2011. 『多文化に出会うブックガ  
イド』, 読書工房
- 若菜晃子・編著 2021. 『岩波少年文庫のあゆみ 1950-2020』岩波少年文庫別冊2,  
岩波書店